

部局名	上下水道局	所属名	給排水相談課	所属長名	竹内 賢和	電 話	483-6156
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9922		事務事業名称	過年度損益修正損						短縮コード	経常	9922	臨時	
予算区分	会計	91	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	03	特別損失	目	01	過年度損益修正損		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		地方自治法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
発生した料金等が消滅時効に係ったとき。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
						大項目（節）	04	水道						
						中 項 目	01	水道						
						小項目（施策）	01	水道の運営基盤の向上						
						細 項 目	03	水道事業の健全経営						
					実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		平成18年4月 ～ 平成19年3月		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	時効に係る未納料金						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 滞納者の追跡調査。						
	※平成19年度に計画していること： 滞納者の追跡調査。						
意図 （何を狙っているのか）	時効による債権消滅						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	時効による未納料金の処理						
区 分			単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	未納料金件数	件	957	100	854	100
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	未納料金額	円	2, 555, 095	1, 000, 000	2, 717, 504	1, 000, 000
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	時効による未納料金の処理	件	957	100	854	100
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1	水道普及率	%			98. 9	
	指標 2						
	指標 3						

コード		9922		事務事業名称		過年度損益修正損		所属名		給排水相談課	
				単位	1 7 年度	1 8 年度			1 9 年度		
					実績	計画	実績		計画		
事業費 (A)	財源内訳	国		千円							
		県		千円							
		地方債		千円							
		一般財源		千円	2, 679	1	2, 629	1			
		その他		千円							
	主な事業費の内訳			滞納者の追跡調査等。		滞納者の追跡調査等。		滞納者の追跡調査		滞納者の追跡調査	
	人件費 (B)			千円	996	1, 007. 3	2, 479. 2	2, 699. 3			
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	3, 675	1, 008. 3	5, 108. 2	2, 700. 3				

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由							
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	水道の運営基盤の向上を図り，水道事業の健全運営に努める。							
			☐ 結び付くが見直しの余地がある								
			☐ 結びつきが弱い・ない								
			☐ 評価対象外事項								
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	毎年，過年度損益修正損額は発生しており，継続的な業務であるため，まだ初期の目的を達成していない。							
			☒ 達成していない								
			☐ 評価対象外事項								
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	検針・収納事務の委託のなかで対象者の追跡調査も行っており，人件費の削減を図っている。 検針・収納事務の実施主体を民間事業者に移行することによるコスト・効率の向上については検討が必要。							
			☒ 可能性はない								
			☐ 評価対象外事項								
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	継続的な水道事業であり，料金の賦課徴収の公平性の追及のため現状で良い。							
			☐ 見直す必要がある								
☐ 評価対象外事項											
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある								
			☐ 効率性向上の可能性はある								
			☒ 両方可能性がある								
			☐ 可能性がない								
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☒ 民間委託等	委託している民間事業者の指導を強化して有効性・効率性の向上を図る。							
			☐ 臨時的任用職員等の活用								
			☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し								
			☐ 受益者負担の見直し								
			☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)				
			☐ 上記以外の方法		2		実施主体 (所管部署)				
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
					☐ ない						

コード	9922	事務事業名称	過年度損益修正損				所属名	給排水相談課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			社会経済情勢との係わりが強く、その時々により市民の経済情勢に影響されるが、対象者の追跡調査や納付要請の強化などで件数は減少できる。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			対象者の追跡調査や納付要請を強化し不能欠損の減少を図る。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									

所属長コメント	対象者の追跡調査と納付要請を強化し不納欠損の減少を図る。								
	評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			課題がなく、対象者の追跡調査や納付要請の強化や、委託業者の指導強化が可能であれば推進すべき。				
☒ 手法プロセスの改革・改善									
☐ 事業規模の拡大・縮小									
☐ 統合・役割見直し									
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									